

国指定重要無形民俗文化財である来訪神行事

こしきじま
「甑島のトシドン」（平成21年ユネスコ無形文化遺産代表一覧表「記載」）

所在地：鹿児島県薩摩川内市 指定年月日：昭和52年5月17日

保護団体：甑島のトシドン保存会

概要：下甑島に伝承される来訪神の行事。大みそか（12月31日）の夜、長い鼻に大きな口のついた面を被り、藁（わら）蓑（みの）などをまとってトシドンが子供のいる家々を訪れ、大声で子供を脅かしたり、よい子になるよう諭したりし、最後に年餅と呼ばれる餅を子供に与えて去っていく。



おが
「男鹿のナマハゲ」（平成23年ユネスコ無形文化遺産代表一覧表「情報照会」）

所在地：秋田県男鹿市 指定年月日：昭和53年5月22日

保護団体：男鹿のナマハゲ保存会

概要：男鹿半島一帯に伝承される来訪神の行事。大みそか（12月31日）の夜、鬼のような面や藁（わら）蓑（みの）などを身につけたナマハゲが家々を訪れ、怠け者や泣く子などを戒める。家の主人から酒食のもてなしを受けた後、次の家へ向かう。



のと
「能登のアマメハギ」

所在地：石川県輪島市・能登町 指定年月日：昭和54年2月3日

保護団体：能登のアマメハギ・面様年頭保存会

概要：能登地方に伝承される来訪神の行事。正月や節分に、天狗（てんぐ）面や男・女の面などの仮面をつけたアマメハギ（輪島市・能登町）やメンサマ（輪島市）が家々を訪れ、怠け者を戒めたり、おはらいをして回る。



^{みやこじま}
「宮古島のパーントウ」

所在地：沖縄県宮古島市 指定年月日：平成5年12月13日

保護団体：島尻自治会、野原部落会

概要：宮古島の島尻と野原に伝承される来訪神の行事。島尻では、旧暦9月に、面とつる草を身につけ、全身に泥を塗ったパーントウが集落に現れ、悪霊をはらうと
いって泥をつけて回る。野原では、旧暦12月に、面をつけた子供や草を体に巻いた女性たちが集落を回って厄払いをする。



^{ゆざ}
「遊佐の小正月行事」（アマハゲ）

所在地：山形県遊佐町 指定年月日：平成11年12月21日

保護団体：遊佐のアマハゲ保存会

概要：遊佐町の女鹿・滝ノ浦・鳥崎に伝承される来訪神の行事。正月の夜に、鬼のような面や藁（わら）蓑（みの）を身につけたアマハゲが家々を訪れ、子供や嫁などを威嚇したり、年寄りには肩をたたき、腰をもんだりする。各家は酒食でもてなしたり、餅を渡したりする。



^{よねかわ}
「米川の水かぶり」

所在地：宮城県登米市 指定年月日：平成12年12月27日

保護団体：米川の水かぶり保存会

概要：登米市の米川に伝承される、来訪神行事の要素をもつ初午の火伏の行事。顔に墨を塗り、藁（わら）製の装束を身にまとった異装の若者や厄年の男性が家々をまわり、火伏を祈願して水をかける。



^{みしま}
「見島のカセドリ」

所在地：佐賀県佐賀市 指定年月日：平成15年2月20日

保護団体：加勢鳥保存会

概要：佐賀市蓮池町の見島に伝承される来訪神の行事。旧暦1月14日の夜（現在は2月の第2土曜日に固定），笠（かさ）を被り，蓑（みの）を付けたカセドリが家々を回る。玄関口から上がり込むと体をかがめ，先端を割った青竹を床に打ちつけて鳴らす。



^{よしはま}
「吉浜のスネカ」

所在地：岩手県大船渡市 指定年月日：平成16年2月6日

保護団体：吉浜スネカ保存会

概要：大船渡市三陸町の吉浜に伝承される来訪神の行事。小正月（1月15日）の夜に，奇怪な面やアワビの殻をつけ，俵を背負ったスネカが家々を訪れ，怠け者や泣く子などを戒める。スネカは，家人と問答した後，餅をもらって退散する。

